



わくわくにこにこ

令和7年4月17日
発行：南畑小学校
No.2
文責：校長 齊藤 宏

(学校教育目) **元気 考える 優しい**
～わくわく にこにこ いっぱい～

(目指す学校像)

児童一人ひとりが自分の色と明るさで輝く学校



新年度が始まり、2週間が過ぎようとしています。
毎朝、正門近くの三叉路で児童と挨拶をしています。児童はしっかりと挨拶をしてくれます。中には「校長先生、おはようございます。」と丁寧にあいさつをしてくれる児童もいます。本当に「にこにこいっぱい」で楽しい日々を過ごしています。特に、児童と目と目を合わせた挨拶ができると、心が落ち着き自然と笑顔になります。

しかし、良いことばかりではありません。通学班で登校する際、きちんと一列になっていない班もあります。そんなにすごく乱れて、ばらばらになっているというわけではありませんが、「凡事徹底」班で一列となり登校することは、とても難しいことではなく、班員一人ひとりが意識をすればすぐに改善できることだと思います。則ち、小さな努力の継続であり、心の健康にとっても大切です。



是非、ご家庭でも声かけをお願いします。また、登校班の班長は何かと大変です。班長への感謝の気持ちも忘れないでいただきたいと思います。



5月の全校集会で、児童に「凡事徹底」当たり前のことを当たり前にするということに関して、次の継続して欲しい3つの小さな努力について話をします。

- ① 相手の目を見て挨拶 【3秒努力】
- ② 下駄箱の靴揃え 【5秒努力】
- ③ 教室ロッカーの整理整頓 【10秒努力】

【○秒努力】というのは、それぞれに取り組むのに、その秒だけ集中するというだけで、ほんの短い時間、自分が意識をして行動すれば、きちんと結果を出せるということです。

言い換えると、意識して取り組めば、短時間でも結果は出せるということです。家庭生活でも意識すれば、短い時間で結果を出せることはあると思います。ご家庭でも、このことについてお子様と話をしていただけましたら幸いです。